

渡良瀬川だより

No. 164

平成28年9月2日

国土交通省

渡良瀬川河川事務所

地域広報官

「水生生物調査」を実施しました

○水生生物調査って何？

水生生物調査とは、川底に棲む生き物を調べることでその地点の水質の状況を判定（きれいな水、ややきれいな水、きたない水、とてもきたない水）するものであり、渡良瀬川河川事務所では、沿川の学校の協力を得て毎年調査を行っています。川の中にはさまざまな生き物が棲んでいますが、その中でなぜ特に川底に棲んでいる水生生物を調査するかというと、魚などと比べて移動距離が短く、調査地点の水質指標として適しているためです。

○平成28年度の水生生物調査について

渡良瀬川河川事務所では、足利女子高等学校の皆さんにご協力いただき調査を実施しました。

- ・参加者：足利女子高等学校
- ・日 時：7月27日（水）
- ・場 所：渡良瀬川（足利市岩井町付近）
- ・人 数：11名
- ・確認種：ヒラタカゲロウ類
コオニヤンマ
ヒラドロムシ類 など
- ・判 定：「ややきれいな水」



【水生生物調査の実施状況】

今年度の水質判定も昨年と同様に「ややきれいな水」でした。しかし、様々な生き物が確認されたことから、水質は良好であることが伺えます。より清らかで多様な生態系を育む渡良瀬川を目指すとともに、この様な調査を通じて川に親しみや関心を持っていただければと考えています。



【パックテストによる水質試験】



【透視度計を用いた水質調査】

（担当：調査課）

「第10回水に親しむ会2016」を実施しました

平成28年8月21日（日）に桐生川の幸橋と広見橋の間にある「桐生川水辺の楽校」で、「水に親しむ会2016」が開催されました。「誰もが安全に川で遊ぼう」という企画のイベントで、市民団体の「川づくりネットワークきりゅう」が主催、桐生市、桐生自然観察の森、渡良瀬川河川事務所が共催しているもので、今年で10回目の開催となりました。

イベント当日は、天候にも恵まれ、約500名の参加がありました。来場した子供たちはピストン釣りや川流れ体験、水生昆虫採集・解説、竹とんぼ作りなど元気いっぱいに楽しんでいました。

渡良瀬川河川事務所では、防災知識の向上を目的としたブースを出展し、地震体験車、土石流実験装置・液状化実験装置による実験、手作り雨量計・紙皿うちわ作成コーナー、パネル展示を行いました。



【ピストン釣り】



【川流れ体験】



【地震体験車】



【液状化実験装置による実験】



お知らせ

平成28年9月11日（日）には、松原橋公園水辺の楽校にて、「川づくりネットワークきりゅう」主催による「第9回水辺で遊ぼう2016」が開催されます。

渡良瀬川河川事務所では、降雨体験車や自然災害体験車による防災展示を行います。

多くの方の参加をお待ちしています。

〔日 時〕平成28年9月11日（日） 9時～15時

〔場 所〕渡良瀬川松原橋公園内

〔イベント内容（予定）〕

- ・秋の昆虫植物採集ツアー
- ・水生昆虫解説
- ・竹とんぼ作りなど
- ・桐生ドック
- ・カヌーやたき火おこし体験など
- ・自然災害体験車と降雨体験車



【昆虫観察ツアー】



【水生昆虫の解説】

（担当：調査課）

～足利商工会議所月例懇談会で渡良瀬川について講演～

平成28年8月1日（月）に足利商工会議所友愛会館で約60名が出席して行われた「足利商工会議所8月度役員・議員月例懇談会」において、牛腸渡良瀬川河川事務所長が約40分間「渡良瀬川の改修の歴史」「過去の洪水被害」「大雨の時の被害想定」等についての講演を行いました。

出席者からは「足利市民が普段慣れ親しんでいる渡良瀬川について、歴史や川の特長などを学ぶことができ、大変有意義であった」等の感想をいただきました。



「キャンプ砂防 i n 渡良瀬・日光」を実施しました

平成28年8月22日（月）から8月26日（金）に、学生参加の「キャンプ砂防 i n 渡良瀬・日光」を実施しました。

今年度の実施テーマは『渡良瀬川の歴史と砂防～豊かで安全な地域を目指して～』と題し募集したところ、東京農工大学、金沢工業大学、信州大学、日本大学（2名）の5名の学生が、キャンプ砂防生として参加し、渡良瀬川・日光管内における砂防事業の取り組み及び旧足尾町の産業と歴史について学びました。



【開講式】

23日には足尾地区において、足尾歴史館、環境学習センターの見学、午後には松木川上流の現在も残る荒廃地をドローンにより空中調査し全体像をつかみ、この流域にある砂防堰堤の老朽化設備（松木川1号砂防堰堤等）の実態を調査しました。



【足尾歴史館】



【環境学習センター】



【ドローン荒廃地調査】



【老朽化設備点検】

24日、25日には、緑化連携事業の重要性を学ぶと共に、体験植樹を行いました。午後には、日光砂防事務所に移動し、管内の砂防事業の現場を訪れ実態を学習しました。



【体験植樹】



【日光稲荷川第2堰堤】

26日午後には、施工中の工事現場見学で、現場での体験談や作業の実習などの様々なカリキュラムで砂防工事について学習を行い、全日程を事故等なく、無事に終了することができました。



【日光の歴史と文化財講義】



【工事施工体験】

最終日の懇談会では、キャンプ砂防生からは

- 「実際の現場の生の声を受注者側、及び発注者側の双方から同時に聞いたことは非常に貴重な経験ができ人のために社会で働く意義を知ることができた。」
- 「今回のキャンプ砂防で、迫力のある生の現場を体験でき人々の生活や暮らしの安全を支える土木の仕事に大きな魅力を感じた。」



【閉講式】

- 「実際の現場を体験でき、知識を得ると共に自分の無知さを痛感し非常にためになった。」
- 「安全、安心の地域生活を確保のため、地域に沿った事業に取り組んでいることに、砂防事業の魅力を感じることができた。」と感想を述べられました。

最後に現地案内等ご協力を頂きました皆様にお礼を申し上げます。

（担当：砂防調査課）

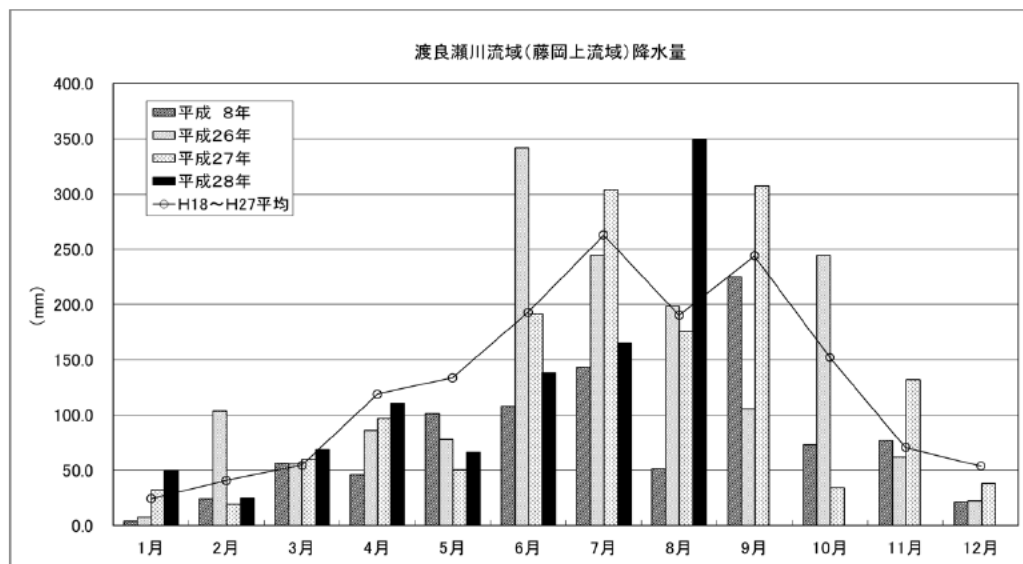
渡良瀬川の取水制限を全面解除

渡良瀬川では、6月11日（土）9時より10パーセントの取水制限を行っていましたが、台風10号等による降雨により、利根川上流8ダムの貯水量が回復し、河川の流量も増加したことから、利根川水系全体の取水制限解除に合わせて9月2日（金）9時をもって取水制限を全面解除します。

皆様におかれましては、節水にご協力頂きありがとうございました。今後とも節水へのご協力をお願いいたします。

渡良瀬川流域の降水量及び草木ダムの貯水状況

8月の渡良瀬川流域（渡良瀬遊水地から上流域）の降水量は349.4^{mm}で、平成18年から平成27年までの平均降水量と比べ約183.7%となっており、9月2日（10時00分）現在の草木ダムの貯水位はE.L（海拔標高）440.02m、貯水量は29,746千^m³で貯水率97.5%となっています。



草木ダム展望台より撮影
（8月16日時点）

紙面についてのご意見や感想をお待ちしています。パソコンからは渡良瀬川河川事務所ホームページの「お問い合わせ」から投稿していただけます。電話・FAXは下記番号へ、郵便の場合は下記住所「渡良瀬川河川事務所地域広報官」あてをお願いします。



国土交通省関東地方整備局

渡良瀬川河川事務所

〒326-0822

栃木県足利市田中町661-3

<http://www.ktr.mlit.go.jp/watarase/>

TEL：0284（73）5551

FAX：0284（73）8504

川の防災情報

リアルタイムの雨量と
水位を知りたい時は

<http://i.river.go.jp>



【案内図及び連絡先】



総務課	0284(73)5551
経理課	0284(73)5552
用地課	0284(73)5553
工事課	0284(73)5554
調査課	0284(73)5558
砂防課	0284(73)5559
佐野河川出張所	0284(73)5557
桐生出張所	0283(21)6810
足利出張所	0277(44)3724
大間々砂防出張所	0284(71)2202
足尾砂防出張所	0277(72)1664
	0288(93)2151